

都市整備局・住宅政策本部業務体験発表会
(令和4年度)
概要書

所 属	
発表テーマ	子供施策と連携した外濠の水辺再生
発表者氏名	
発表の概要	<p>東京都は、「『未来の東京』戦略」(令和4年2月公表)において、東京の歴史的財産である外濠の水質改善を進め、都心で働く人々に癒やしの場を提供するとともに、品格ある景観を形成し、魅力あるまちづくりへとつなげる外濠の水辺再生事業に取り組むこととしている。</p> <p>この中で、将来にわたり水と緑の空間を残していくために、子供向け勉強会を実施し、外濠や玉川上水など歴史的財産の価値や維持管理の大切さを伝えていくこととしており、令和4年度から実施している。</p> <p>本発表では、令和4年度に実施した、新宿区立津久戸小学校での勉強会と、千代田区立番町小学校での勉強会における取組状況を、子供たちへのアンケート結果も交えて紹介するとともに、勉強会実施に当たったの庁内連携や情報発信、さらには今後の取組などについても紹介する。</p>

子供施策と連携した外濠の水辺再生

1 外濠の水辺再生事業

外濠（市ヶ谷濠・新見附濠・牛込濠）は、アオコの大量発生に伴う、景観障害や異臭により、まちに安らぎや潤いを与える機能を十分に発揮できておらず、都市の魅力が低下している状況にある。

このため、東京都は、『未来の東京』戦略（令和4年2月公表）において、東京の歴史的財産である外濠の水質改善を進め、都心で働く人々に癒やしの場を提供するとともに、品格ある景観を形成し、魅力あるまちづくりへとつなげる外濠の水辺再生事業に取り組むこととしている。

都市整備局では、外濠の水辺再生に向けて、関係局や関係機関と連携しながら、外濠に導水するための水量・水源の確保や導水路の整備方法などの調査・検討を進め、下水再生水と荒川河川水を玉川上水路等を経由して導水する概略ルートなどを定めた基本計画を公表している。この計画を踏まえ、2030年代半ばの整備完了を目指し、令和4年度から導水に向け必要となる施設の基本設計を行うなど具体的な取組に着手している。

また、将来にわたり水と緑の空間を残していくために、子供向け勉強会を実施し、外濠や玉川上水など歴史的財産の価値や維持管理の大切さを伝えていくこととしており、令和4年度から実施している。



図1 外濠位置図（国土地理院地図に一部加筆）

2 子供向け勉強会の概要

外濠の子供向け勉強会は、「外濠の歴史を学ぶ」「現状の水質状況を把握する」「自らできる取組等を考える」ことを通して、「外濠の歴史的財産の価値や維持管理の大切さを伝える」ことを目的としている。「外濠の歴史的価値」「施設の維持管理の重要性」を学ぶ教育的効果に加え、今年度の勉強会を実施する小学校側から要望のあった「社会への参画意識の向上」などの効果も期待して実施した。

初めての実施となる令和4年度は、新宿区立津久戸小学校と千代田区立番町小学校において行った。

3 子供向け勉強会の実施状況

3-1 新宿区立津久戸小学校

新宿区立津久戸小学校での子供向け勉強会は、令和4年6月29日(水曜日)と7月15日(金曜日)に、津久戸小学校の4年生53名(2クラス)を対象として、津久戸小学校講堂、市ヶ谷濠及び飯田濠において実施した。

(1) 事前調整

今回の勉強会は、初めての取組ということもあり、小学校と事前打合せを綿密に行い、先生方の意向も踏まえ、子供たちの学習進度も考慮しながら、試行錯誤の上、開催内容を決め、実施した。

勉強会を実施する小学校については、新宿区において外濠の水辺再生事業の調整先となっている部署から新宿区教育委員会にお話をしていただき、新宿区教育委員会から牛込濠に近い津久戸小学校を紹介していただいた。

勉強会の実施に向けた小学校との調整においては、まず、校長と大きな方向性を決めた上で、4年生担任の先生方と具体的な打合せを行い、外濠周辺を一緒に歩いてもらい、認識の共有を図るなどした。

勉強会の実施に当たり、津久戸小学校からは、「外濠を綺麗にすることに小学生にできることは少ない。東京都からの説明では、“大人は本気だ。”“これだけのお金がかかっている。”“大人はこう考えている。”“君たちにも知ってほしい。”というような説明をしてもらい、子供なりに何ができるかを考えるのが良いと考えている。」「勉強会は1日で終わらせる必要はない。1日目に東京都から説明してもらった後に子供たちに考えてもらい、2日目に自分たちはこんなことを考えたという形が良い。」「子供たちからの発表方法は、子供たちが主体的に考える形としたい。」「新宿区の関連団体であるエコギャラリー新宿とのコラボを考えたい。」などのお話があった。

このようなことから、勉強会は、1日目の午前中に座学(東京都による外濠に関する説明)と現場見学、午後に新宿区とエコギャラリー新宿による水質分析を行い、その後、2週間の校内学習を経て、2日目に子供たちによる発表と講評を行うこととした。

(2) 勉強会の流れ

勉強会1日目となる6月29日(水曜日)は、初めに、東京都から外濠の「昔」と「今」、なぜ汚れているかなどについて、クイズも交えながら40分程度の説明を行った(図2)。その後、小学校最寄りの飯田橋駅からJR総武線に乗って外濠を眺めながら市ヶ谷駅へ移動し、市ヶ谷濠の現場見学を行った。当日は気温が高かったこともあり、市ヶ谷濠では、普段はなかなか見ることのできないアオコの発生状況を確認することができた(図3)。子供たちからは「ちょっと汚い。」「こんなところに動物が住んでいるのがすごい。」などの声があった。学校に戻った後、先生からの「外濠のお話を聞いて、お濠を見て、みんなどうする?」との問いかけに、子供たちからは



図2 東京都からクイズも交えた説明



図3 アオコを確認

「発表する」「クラスみんなに」「都民に」などの声上がり、発表に向けて2週間の校内学習を行うこととした。

給食を挟み、午後には、子供向け勉強会と連携したイベントとして、新宿区とエコギャラリー一新宿による水質実験が行われた。水質実験では、子供たち自ら、「市ヶ谷濠の水」、新宿区内を流れる「神田川の水」及び「水道水」について、透視度・COD(化学的酸素要求量)・DO(溶存酸素)の計測・比較を行い、水質に関する理解を深めてもらった。

勉強会1日目終了後の校内学習では、子供たちがグループに分かれ、子供たち自らが主体的に発表内容を考えた。子供たちの発表内容の検討にあたり、小学校側は、「外濠をはじめ、暮らしを支えている水をよごさないために、自分たちができることを考え発信すること」「外濠の浄化計画や未来の外濠の姿を周りの人に伝え、未来への展望を考え発信すること」の2つの視点を用意するとともに、2日目の発表まで計画的に学習が進められるように「学習計画表」(図4)を準備した。

勉強会2日目の7月15日(金曜日)は、子供たちが外濠の未来への展望などについて、緊張しながらも堂々と思いつきの方法で発表を行った(図5)。発表内容は、

- ・ 津久戸小4年生へのアンケート結果も織り交ぜ、外濠の浄化をアピールした「新聞」
- ・ 外濠の「今」と「未来」を対比した「ポスター」
- ・ 主人公の「アオくん」「オコちゃん」が外濠を舞台に物語を繰り広げる「絵本」
- ・ 外濠の歴史をたどり、未来への思いをつなげた「巻物」

期日	実施方法	実施場所	メンバー
6/30(水)	発表会までの計画	1分×11人	
7/1(木)	発表会までの計画	1分×11人	
7/2(金)	発表会までの計画	1分×11人	
7/3(土)	発表会までの計画	1分×11人	
7/4(日)	発表会までの計画	1分×11人	
7/5(月)	発表会までの計画	1分×11人	
7/6(火)	発表会までの計画	1分×11人	
7/7(水)	発表会までの計画	1分×11人	
7/8(木)	発表会までの計画	1分×11人	
7/9(金)	発表会までの計画	1分×11人	
7/10(土)	発表会までの計画	1分×11人	
7/11(日)	発表会までの計画	1分×11人	
7/12(月)	発表会までの計画	1分×11人	
7/13(火)	発表会までの計画	1分×11人	
7/14(水)	発表会までの計画	1分×11人	
7/15(木)	発表会までの計画	1分×11人	
7/16(金)	発表会までの計画	1分×11人	

図4 学習計画表

- ・ 外濠浄化の話を分かりやすく表現した「劇（脚本）」
- ・ アニメーションで躍動感ある外濠を描いたプレゼンテーションソフトによる発表

など多岐にわたった。

子供たちの発表後の講評では、東京都から各グループに、発表内容の特徴に応じて、「外濠賞」「アオコ賞」「水の都賞」「神楽坂賞」などの表彰状を授与し、子供たちの頑張りを称えた（図6）。様々な賞のうち、「最優秀賞」は、着眼点の良さが高く評価された「アオコの謎」と題した「巻物」に決定した。

また、勉強会に熱心に取り組んでいただいた先生方には、サプライズで「外濠特別賞」を贈呈し、会場を盛り上げた。



図5 緊張しながらも堂々とした発表

（3）実施結果（アンケート結果等）

勉強会実施後に、子供たちを対象にアンケートを実施した。

「勉強会はどうでしたか」の質問に関しては、「大変よかった」(60.9%)、「よかった」(28.3%)と、約9割の子供が高評価をした。一方で、「よくなかった」(4.3%)との評価もあった。

また、「自分たちが何かやっていきたいと思いませんか？」の質問では、「思う」(76.1%)と答えた子供たちに、具体的にやりたいことを尋ねたところ、「外濠浄化プロジェクト応えん等々」「学校のじゅぎょうでボランティア活動など行ってみたい。」「作家になって外濠の大切さをつたえたい。」「水上アスレチックをつくってあそびたい。」「ゴミを外濠や川、海にすてない。」などの意見があった。

自由意見では、「外濠がきれいになってほしい。」「外濠をみらいにはとてもきれいにしたい。」「プール(そとぼり)でおよぎたい。」「きれいになったらテナガエビや魚をはなしてほしい。」などの意見があった。



図6 表彰状の授与

3-2 千代田区立番町小学校

千代田区立番町小学校での子供向け勉強会は、令和4年10月11日(火曜日)に、番町小学校の4年生66名(2クラス)を対象として、番町小学校講堂において実施した。

（1）事前調整

勉強会を実施する小学校については、千代田区の外濠を所管している部署から千代田区教育委員会にお話をいただき、千代田区教育委員会から市ヶ谷濠に近い番町小学校を紹介していただいた。

小学校との調整においては、校長、副校長、4年生担任の先生方及び千代田区の外濠所管部

署とのブレインストーミングにより実施内容を検討した。

番町小学校からは、「勉強会を通して環境づくりのきっかけとしたい。」「濠水と川の水の比較を行う水質実験なども、子供たちが興味を持って取り組める。」「東京都からの説明や水質実験の前に、現場でアオコの暫定対策として水質改善処理剤を散布しているところを見た方が効果的だと思う。」などのお話があった。

このことから、アオコの暫定対策を実施している千代田区の協力を得て、9月に現場見学を行い、水質改善処理剤の散布状況を見させていただいた上で、10月に勉強会として、東京都による外濠に関する説明と、千代田区による水質実験（外濠の水と神田川の水の比較）を行うこととした。

（2）勉強会の流れ

勉強会に先立って、現場見学は9月13日（火曜日）に市ヶ谷濠で実施した。外濠やアオコの暫定対策の説明の後、濠上の船から水質改善処理剤を散布し、水面が変化の様子を見た子供たちからは歓声が上がった（図7）。

勉強会当日の10月11日（火曜日）は、初めに東京都から20分程度の説明を行った。説明の前半では、外濠の「昔」と「今」、なぜ汚れているかなどについて、クイズも交えながら説明を行い（図8）、後半では、番町小学校卒業の東京都職員から、アオコの暫定対策について説明を行った（図9）。

つぎに、千代田区による水質実験を行い、子供たち自ら、「市ヶ谷濠の水」、千代田区内を流れる「神田川の水」及び「水道水」について、pHやCOD（化学的酸素要求量）などの計測・比較を行い、水質に関する理解を深めてもらった（図10）。



図7 水質改善処理剤の散布を見学



図8 クイズに挙手



図9 番町小卒業の都職員からの説明



図10 千代田区による水質実験

(3) 実施結果（アンケート結果等）

勉強会実施後に、子供たちを対象にアンケートを実施した。

「勉強会はどうでしたか」の質問に関しては、「大変よかった」(25.8%)、「よかった」(42.4%)と、約7割の子供が高評価をした。一方で、「あまりよくなかった」(6.1%)との評価もあった。

また、「自分たちが何かやっていきたいと思いませんか？」の質問では、「思う」(76.1%)と答えた子供たちに、具体的にやりたいことを尋ねたところ、「花や木をたくさん植えて自然あふれる外濠にしたい」「外濠にゴミをすてず、魚をはなして、でんしゃからいいけしきをみることができるようになりたい。」「しょうらい外ぼりなどのまわりに公園をつくってあそべるようにしたい」「みんなに外濠のことを知らせたい（書く、ポスター）」などの意見があった。

自由意見では、「みんなで外ぼりをきれいにしたい!!!」「飲めるくらいきれいにしたい。」などの意見があった。

4 庁内連携と情報発信

外濠の水辺再生事業は、環境局、建設局、水道局及び下水道局と連携して進めており、勉強会についても、当日の運営補助をしていただいた。

情報発信については、勉強会の状況を、勉強会当日に、都市整備局ツイッターに掲載し、子供政策連携室に即日リツイートしていただくとともに、後日、都市整備局ホームページにも掲載した。

また、津久戸小学校での勉強会1日目については、政策企画局戦略広報部の取材を受け、その様子は東京デイリーニュース (<https://www.youtube.com/watch?v=jsiKidFa5b0>) や東京ウィークリーニュース (<https://www.youtube.com/watch?v=2gMMYwbLo3Y>) において放映された。

さらに、津久戸小学校の勉強会での子供たちの作品は、交通局にお願いして、外濠の子供向け勉強会を紹介するポスターとともに、都営新宿線市ヶ谷駅と都営大江戸線飯田橋駅に展示をすることができた（図11～13）。

子供向け勉強会は、庁内各局の協力を得ることで、円滑な運営が可能となるとともに、迅速かつ広範な情報発信を実現することができた。



図11 市ヶ谷駅での作品展示



図12 飯田橋駅での作品展示

5 今後の取組など

外濠の水辺再生事業は、多様な主体との協働を進めることとしており、今回の勉強会においても、地元区などと連携し、子供たちに、より外濠に興味をもってもらうことができたと考えている。

また、子供向け勉強会に関して、小学校の先生からは、「通常、学校だけではなし得ないような充実した教育活動となりました。」「今回の取組に参加した経験は子供たちの財産になるなと感じました。」「これからは、外濠浄化プロジェクト応援団として子供たちと共に話題にしていきます。」などのコメントをいただくとともに、「保護者は、この地域の方でもあるので、外濠浄化プロジェクトについて知ってもらうことは大事なことと考え、勉強会のパワポを活用させていただき、保護者にも子供たちと同じことを伝えました。「外濠浄化プロジェクト」が十分に伝わったと思っています。」といったお話もいただいた。

今回の勉強会は、子供たちに良い学習機会を提供することができた。また、子供たちや地域の方に対して、長期的に外濠の水辺再生事業へ関心を持ってもらえるような意義のある取組になったと考えている。

今後は、今年度の勉強会で出された意見を整理・分析し、外濠の水辺再生事業にどのように反映させていくか検討する。また、効果的な勉強会の実施内容などについても検討を重ね、フィードバックを図りながら、来年度以降も勉強会を実施していく予定である。

外濠を中心とした魅力あるまちづくりへとつなげられるよう、引き続き、関係局や国・地元区とも連携しながら、人々が憩う外濠の水辺再生事業を着実に進めていく。

新宿区立津久戸小学校・東京都都市整備局
外濠の子供向け勉強会 作品の展示

概要

- 東京都都市整備局では、外濠の近くにある新宿区立津久戸小学校4年生5名と「外濠の水辺再生」についての子供向け勉強会を開催しました。
- 今回、子どもたちが勉強会で発表した作品を、新宿区津久戸・大江戸線新田橋駅において展示いたします(2022年8月28日～9月14日)。

勉強会の流れ

1日目(6月29日) 校内学習

2日目(7月15日) 発表

外濠の学習
外濠の「昔」と「今」なぜ汚れているのか
現地見学

班による学習
ポスター・絵本・巻物劇・プレゼン・新電

発表
「自分たちにできること」「未来への展望」
表彰・講評

情報発信
東京都都市整備局Twitter
東京デ일리ニュース(動画)
東京都都市整備局「外濠の水辺再生」ホームページ
外濠浄化の推進を契機として「水の都」東京を誇らせる

図 13 勉強会の紹介ポスター